

モルック

モルックとは、フィンランドのカレリア地方の伝統的なキッカというゲームを元に1966年に開発されたスポーツです。

モルック	スキttl	モルッカーリ
<p>投げる棒のことをモルックという。下手投げで行うのが基本。</p>	<p>木製のピン。モルックを投げてスキttlを倒す。</p>	<p>モルックを投げる位置を示す。地面に置いて使用します。</p>

【ルール】

モルックを投げて倒れたスキttlの内容によって点数を加算していき、先に50点ピッタリになるまで得点したほうが勝ち。

<p>①モルックを投げる地点にモルッカーリを置き、そこから3.5m離れたところにスキttlを右の図の順番に並べます。これがゲームスタート時の配置です。投てき時にモルッカーリに触れたり、踏み越えるとフォルトとなり0点となります。</p>		
<p>②2チームで対戦しますので、投てき順を決め、順番にモルックを投げてスキttlを倒します。 1本しか倒れなかった場合は、「倒れたスキttlに書いてある数字=点数」になります。 複数本のスキttlが倒れた場合は、「倒れた本数=点数」となります。</p>		
<p>③スキttlは、倒された地点で再び立てられます。そのため、ゲームが進むにつれてスキttlが広がり、倒すのが難しくなっていきます。どちらかのチームがピッタリ50点を先取した時点でゲーム終了となります。</p>		
<p>完全に倒れていない場合</p>	<p>50点を越えた場合</p>	<p>3回連続ミスした場合</p>
	<p>Over Points 50 Back To 25</p>	
<p>スキttlが完全に倒れていない(重なって地面についていない)場合は点数にカウントしない。</p>	<p>50点を越えて得点した場合、25点へ減点され、ゲームは継続されます。</p>	<p>3回連続スキttlを倒せず、失投した場合0点と記録され、失格となります。</p>